

柏原市立青谷運動場の廃止に関する経過

柏原市立青谷運動場（以下「運動場」という）は昭和 40 年 7 月に青谷青少年運動場広場として設置され、ナイター設備のあるグラウンド、テニスコート、ジョギングロード及び広場のある運動場であり、これまで地域住民の心身の健全な育成の場として提供してまいりました。

しかしながら、平成 29 年 10 月 22 日から 23 日にかけて台風 21 号の接近・通過に伴う豪雨による大和川の増水により、運動場に河川の水が流入、浸水しグラウンド、テニスコート及び侵入防止柵等に壊滅的な被害を受けました。また、隣接する住宅地においてもあわや浸水というところまで水位が上昇し、避難指示を発令しました。

それ以降、本市としては、運動場の復旧に向けての検討を重ねてまいりましたが、再整備については河川氾濫の対策を講じる必要があり、そのためには多額の経費がかかることから市単独で再整備を行うには非常に難しい状況となっております。

そのような状況の中、令和 3 年 3 月 30 日に国において公表された「大和川水系流域治水プロジェクト」では、国分市場地区（左岸）と青谷地区（右岸）の治水安全度の左右岸バランスを図る築堤（堤防を築造すること）や河道掘削（川底の土砂を取り除く等、河道を掘ること）等の治水事業が位置付けられました。

そして現在、運動場付近では治水対策に必要な工法及び範囲について調査・検討が進められているところでございます。市としましても当該地域の住民の生命と財産を守るためには周辺地域への浸水対策が必要であることを十分に認識しており、国が進める治水対策に協力してまいりたいと考えております。以上のことから、当該施設の用地を治水対策に活用していただくため、当該運動場の廃止を検討するものです。

柏原市立青谷運動場施設概要

所在地 柏原市大字青谷 130 番地の 11 外

敷地面積 21,082 m²（グラウンド 9,721.04 m²、テニスコート 760 m²
建物面積 128.24 m²、照明器具・ジョギングロード
・広場・駐車場等 10,472.72 m²）